



はくろ（白鷺）の散歩Ⅶ

令和7年10月23日
～校長室の窓から～ 令和7年度 No.12
神奈川県立平塚中等教育学校
校長 松本 靖史

【翠星祭文化部門2日目】

翠星祭文化部門の2日目となる令和7年10月19日（日）には、前日を上回るより多くの方にご来場いただきました。今年は中庭ステージで、恒例の「誰でもスターでSHOW!!」のほかに13期生有志による「ディベート実演会」が行われたりしました。また、視聴覚室での合唱部の公演、体育館ステージでの吹奏楽部、ダンス部の公演も盛況に行われました。



大いに盛り上がった翠星祭文化部門も、15時には一般公開を終えました。

【翠星祭文化部門後夜祭】

翠星祭文化部門2日目の16時半からは後期生対象の後夜祭が行われました。12の団体がそれぞれのパフォーマンスを披露しました。いずれもオーディションを勝ち抜いての出場ですので、レベルが高い演技や演奏でした。すっかり暗くなった18時過ぎに後夜祭は幕を閉じました。



【翠星祭文化部門閉祭式】

令和7年10月20日（月）には、閉祭式が行われました。生徒会長、前期文化祭実行委員長のことば、文化祭実行委員長のあいさつがなされたほか、表彰が行われ、総合優勝はBブロックが獲得しました。

今年の翠星祭文化部門は、催事で整理券方式を取り入れるなど様々な工夫を行いました。とくに1日目の反省を生かして2日目に改善を図るなど、

大人顔負けの対応力をがみられました。

生徒会長の「だんだん心が一つになり、共感の輪が広がった。」という言葉は、本校の文化祭の状況をよく表していました。

【翠星祭文化部門片付け&振り返り】

閉祭式のあとは片付けです。大規模に机や椅子を移動しているので復元も大仕事です。催事は教室と思えないくらい手を加えたので、これも大変な作業ですが、生徒たちはてきぱきと動いていました。

昼食後、前期生は学年集会、後期生はブロック集会です。ここできちんと振り返りをおこなうことが、単なるお祭りではなく、学びにつながっていると考えています。



【公開研究授業】

翠星祭文化部門より前のことになりますが、令和7年10月3日（金）の5・6校時に恒例となった公開研究授業を開催しました。今年度の授業研究は、「発展・伸長期（5・6年）の

授業について、教科ごとに単元を策定し、組織的な授業改善を行う。」「教科ごとに、6年間の教育計画を改善する。」をねらいとしています。

7校時には、教科ごとに協議を行いました。協議には、外部の参加者及び助言者として招いた総合教育センターの3人の指導主事にも加わっていただきました。

